



石井市長と 理事・監事との懇談会

3月27日、センターで石井市長と理事・監事との懇談の場を持ちました。

冒頭の理事長挨拶では、広報紙配布日数を2日から3日に延長していただいたこと、インボイスの問題で市長会の先頭に立って特例措置の発言をしていただいたことへのお礼を述べました。

石井市長からは、2期目となった市長の新年度の行政方針、西宮市の今後の基本構想や重点施策を分かり易くお話いただきました。

理事からは、センター建物の老朽化と手狭であることをお伝えした他、市からの新たな仕事の受注増のお願いをしました。

『健康マージャン講座』開催！

3月27日、広田山荘にて第1回目を開催しました。初心者対象で参加者15名、西宮つ子健康麻雀倶楽部専任講師の長野義則さんの指導と会員のU.Mさん(瓦木)、Y.Hさん(瓦木)の補助で、前半は教本に沿った基本説明。後半は実際にマージャンパイを触るなど、2時間余りの講座でした。講座は毎月1回で全6回の予定です。



多くの方に申し込んでいただきましたが、人数に限りがあり、残念ながらご参加いただけなかった方がおられました。秋にまた募集しますので、暫くお待ち願います。(イベント推進委員会)

3月末の 事業実績

※()は昨年比

- 会員数：2,240人(+41人)
- 事業高累計(含派遣)：692,420千円(-49,067千円)
- 就業実人員(含派遣)：1,768人(-4人)

令和5年度事業計画について

令和5年度事業計画が3月の理事会で承認されました。

目標は次のとおりです。令和4年度の実績見込みを踏まえた数値目標となっています。

- 1 会員数目標：2,300人
- 2 就業率目標：80%
- 3 事業高目標：6億8,000万円

- **センター事業**では、会員拡大と就業拡大が大きな2本の柱です。
 - **各委員会活動**は、新型コロナウイルス感染症の影響で3年間活動が抑えられていましたが、感染が落ち着くことを期待し、本年度は各委員会とも積極的な活動に取り組みます。
 - **会員拡大**では、入会説明会の定期開催並びに、出前入会説明会を開催し、目標の2,300人を目指します。
 - **就業開拓**では、事業所訪問、PRチラシの全戸配布および新聞折込を行い、さらに会員の皆さまの力をお借りして、年度目標を到達するよう取り組みます。
 - **会員就業**での安全適正を始め、就業に結びつく講座、交流会の開催。各種イベントでは、会員皆さまの心と体のリフレッシュをしていただく取り組みも実施していきます。
 - **地区地域班活動**でも、広報紙配布の課題や月報での発信などに取組んでいきます。
- 会員の皆さまの、ご理解とご協力をお願いします。

(理事会)

人事異動 | 3月31日退職 事業課臨時職員
4月 1日昇任 総務課課長

お詫び | 令和5年度会員証の送り状の年度が「令和4年度」と間違った記載になっていました。お詫び申し上げます。(事務局)

センター 無事故 継続日数

- 就業中：115日
- 就業途上：68日
(2023年3月31日現在)



「安全就業スローガン」募集結果

1月にお知らせしました、令和5年度全シ協の『安全就業スローガン』募集に14名、49点の作品が寄せられました。

その中から委員会で厳選の結果、下記の3点を兵シ協に推薦しました。その後、兵シ協でも県下から寄せられたスローガンを厳選し、全シ協に候補作品として挙げられます。

西宮SCから推薦した3作品は以下のとおりです。この作品は3年間、センター2階多目的室に掲示します。(事務局)

・無意識の「今日も平気」は落とし穴！

U.J会員(瓦木)

・気をつけよう 慣れた作業に 潜む事故

H.T会員(中央)

・やってくる 忘れたところに 油断事故！

A.S会員(津・今)



就業現場風景

【私のお仕事】

H.Y 会員
(鳴尾南地区)

【マンション清掃業務】

77才で廃業し、娘の住まいの西宮市に夫婦共々、令和3年1月に転居して来ました。体を持って余す日々が続く何か仕事をしたくなり、シルバーの入会説明会、面談に向き、センターの理念や就業体験談を聞き感動を覚えました。

これからの第二の人生を人と交わり、楽しく送りたいと思っていたところ、センターより『マンションの清掃業務』のお話をいただき、喜んで引き受けました。

暑い日には、隣人の方よりアイスキャンデー、住民の方からは冷たいコーヒーなどをいただきました。挨拶や礼儀をわきまえ、オーナーより「頑張ってくれていますね！」と、お褒めの言葉をいただきました。

日々老体にムチを打ち、「キレイに」と念じ、清掃に励んでいます。楽しいです！

●地区コーナー②

中央地区

過去のイベント事例

コロナ禍の収まりで、スポーツに文化に旅行に、世の中の活動が元気を取り戻しつつあります。今年度も、中央地区では、会員の皆さんに仕事のほかでも、『シルバーに入ってよかった！』と実感していただくことを目標に、地区や仲間とつながる《場づくり(イベント)》に取り組んでまいります。

(中央地区 役員一同)



▲「コバノミツバツツジ鑑賞」(廣田神社)

▲「旧福知山線廃線跡ハイキング」



▶「観梅の会」(甲東梅林)

西宮の文学散歩④

「カトリック 夙川教会」

壮観な外観と美しいステンドグラス



夙川のシンボルとして、人々に心の安らぎと祈りの場を提供している「カトリック夙川教会」。聖堂および鐘楼の歴史的、文化的な価値が評価され、2009年に「西宮市都市景観形成建築物」、2012年に「兵庫県景観形成重要建築物」に指定されています。

この教会は、遠藤周作文学の原点といわれ、母に連れられ、西洋仕立てのぶかぶかの洋服を着せられるに至った場所として、彼の作品にしばしば描かれています。

多感な青少年時代を過ごした西宮は、エッセー「心のふるさと」などで何度も語られており、「口笛を吹く時」や「砂の城」などの小説の舞台にもなっています。(広報委員会)